

◎ 「福祉の話聞き、考え変わった」

現在日本では少子高齢化が進んでいて、40年後には人口の約4割が高齢者になるという。そこで必要とされる仕事が福祉の仕事だ。私は改めて福祉の仕事について考えてみた。

先日、学校で福祉の仕事についての講演会が行われた。話を聞く前は、福祉の仕事はいろんな分野があるが、重労働の作業もあって大変そうだと思っていた。しかし、老人ホームで仕事をされている方の話を聞いて、福祉に対する私の考えが変わった。悩んだり疲れたりしてもお年寄りの方と笑顔で話すことで、元氣をもらえるとおっしゃっていた。

自分は福祉の仕事は嫌だと思っていたけれども、話を聞くだけで福祉に対する考えが少し変わった。私たちは福祉の仕事について、もっと学ぶべきだと思う。



上に紹介した文章は、11月19日付に西日本新聞に掲載された、3年生の畑中 光くんの意見文です。先日、校内で実施した福祉講演会で感じたことを投稿してくれました。

現在、日本は総人口の減少に伴って、先進国の中でも少子高齢化が加速的に進んでいる国です。極端な例ですが、今月上旬に来校された黒島は、島内の人口440名の中で、65歳以上のお年寄りが約6割を占め、15歳以下の子どもたちはわずか20名しかいないという超少子高齢化社会になっています。こういう社会だからこそ、早い時期に「福祉」について関心を持ち、これからの生き方を考えることは、とても有意義なことだと思います。福祉の仕事に限らず、どんな仕事にも苦労や悩みはついてきます。でも、福祉の仕事で大切なことは、何と言っても「相手への尊敬と思いやりの心」です。加えて、畑中くんの文章の中にある「お年寄りの笑顔に癒やされる」と感じる心の余裕も必要です。私たちの毎日の生活を反省したいものです。

さて、3年生は三者面談も終了し、受験する高校も決まったことだと思います。進学することは、今よりも高度な学習内容に挑戦し、自分をさらに高める努力を重ねることです。きついことから逃げるのではなく、社会の現状をしっかりと把握し、自分を活かせる将来をつかむための努力を重ねてほしいと思います。

◎ 祝 県大会新人戦優勝！～空手道団体形～



部活動の多くの競技で新人大会のシーズンを迎え、各地で様々な大会が開催されています。

11月26日(日)、佐世保市東部スポーツ広場体育館で空手道の県大会が行われ、中里中が団体形の部で見事優勝を果たしました。現在、中里中空手道部は、2年生男子3名で日々の練習に励んでいます。少ない人数ながら、互いに切磋琢磨しながらつかんだ今回の栄冠に、心から拍手を贈りたいと思います。

団体戦に引き続いて行われた個人戦でも、土肥くんが準優勝、江口くんが3位に入賞し、土肥くんは春休みに埼玉県で開催される全国大会の切符も手にしました。夏の九州大会では悔しい思いをした3人ですが、心・技・体を一層磨き、さらに美しく・力強い形の完成に期待したいと思います。

◎ 明日、生徒会役員立会演説会 & 投票！



約2週間続いた朝の正門での選挙運動も本日で終了し、明日は午後から立候補者による「立会演説会」と、全校生徒による投票が行われます。

さて、平成30年度の生徒会が誰の手に託されるのか楽しみです。結果は、次回の学校だよりでお知らせいたします。

◎ PTA音楽祭 お疲れ様でした！

11月26日(日)、PTA音楽祭がコミセンで行われました。皆瀬小・中里小・中里中合同チームも練習以上の美しいハーモニーを響かせることができました。大変お疲れ様でした。

